人が新たな運動を学習することについて
運動学習、書字、手の動き

作業療法学科
鈴木 貴子　　准教授

【研究分野】　運動学習、手の動き（特に書字）
【キーワード】　運動学習、書字
【U　R　L】　https://researchmap.jp/szktkk

研　究　概　要

1. 病気や障害によって運動が困難になった方に対し、リハビリテーションでは体の動きの再獲得や改善を目指して運動の練習を行います。その際に、セラピストは対象者の体に触れ、支えながらより良い動きへと誘導します。この時、対象者の脳や体にはどのようなことが起きているのか、運動の再獲得をより効率的に促す手段はないか、これらを研究疑問として取り組んでいます。

2. 人が幼少期から長い時間をかけて獲得する動作の一つである文字を書く動作について、動作そのものの分析、文字に対する評価など多方向からの解明と、リハビリテーションや教育領域への貢献を目指して取り組んでいます。

研　究　紹　介

1.　最適運動軌道と脳活動

セラピストが対象者の上肢を支持して動きの誘導・介助をするときに対象者が感じる違和感、脳内の活動はどのようなものなのか、それは何を意味しているのか、セラピストが誘導すべき運動は本当はどのようなものなのか等を明らかにするため、主に脳波計測や運動学的解析を用いて研究を進めています。
（科研費：20K11234）

身体誘導時の脳波等計測

2.　文字（数字）に対する人の主観的評価

人は文字を、上手・下手、さらには元気な・丁寧ななどの様々な形容によって表現・評価することができます。しかしこのような、人による文字の評価は絶対的なのか相対的なのか、明らかになっていません。文字に対する主観的評価の法則性を明らかにするため、機械学習を用いた研究を進めています。
（東京家政大学生活科学研究所 総合研究プロジェクト）

3.　箸操作練習に関する調査研究

作業療法の現場で行う麻痺のある手や非利き手での箸操作練習における現状調査を行っています。（学部生と共同で実施）

過去の研究：運動錯覚と皮質脊髄路の興奮性について、書字の時の手指の動きについて

講 座 テ ー マ 紹 介

「手」の不思議、手に関する基本的な知識を中心に(お子さん・一般の方向け)
（過去に市民大学、こども大学等で実施）

アピールポイントなど

特許：上肢運動学習装置（特許:6425355号）（濱口豊太教授と共同）
所属学会等：日本作業療法士協会、日本作業療法研究学会、日本臨床神経生理学会、他
都内の高次脳機能障害専任相談員（H28年度～）